

武漢事務所週刊ニュース (2016. 7. 23-2016. 7. 29)

2016年7月23日

華中エリア初の「クラウドプリント」Eコマースが武漢に

7月18日、湖北本土企業の中浩紫雲科技股分有限公司が世界トップ500企業の理光(中国)投資有限公司と戦略提携協議を結び、武漢で華中初となるクラウドプリントサービスEコマースオフライン体験センターを設立した。

紫雲網武漢オフライン体験センターの面積は300平方メートル。デジタル、写真集、紙類、名詞、印刷、コピーとサンプル作りなどを一体化とするサービスセンターである。業界内の先端印刷設備を有するほか専門的顧客サービススタッフを配備している。「会社が武漢及び北京、上海、広州、深センなどの大都会で100店のオフライン体験センターを設ける事により、O2Oクラウドプリントの配置を加速させる。」と述べていた。

2016年7月23日

世界初、中国の無形文化財基金が香港で発行された

世界初の中国無形質文化遺産のオープンエンド型基金「中国無形文化財基金」が香港で初めて発行され、11億元の投資意向を募集した。

発行元の紹介によると、当該基金は武漢「無形文化財の町」などの無形文化財プロジェクトの建設に充てる予定である。

「中国無形文化財基金」は、武漢旅游発展投資集団傘下の武漢無形遺文化伝播有限公司により発行され、香港準盛豊金融集団が基金管理人として委託されている。当該基金は全世界に対して募集を行い、世界で初めての無形文化財プロジェクトのための投資として注目されている。

委託会社の責任者によると、当該基金は株式投資基金であり、2年から3年の間に上場予定で、投資基金は武漢で「無形文化財小町」、「無形文化財学院」、「長江無形文化財学院」、「クラウド旅行庁」などのプロジェクトの建設に使用する予定という。